

平成21年1月28日

各位

上場会社名 株式会社 シンプレクス・テクノロジー
 代表者 代表取締役社長 金子 英樹
 (コード番号 4340)
 問合せ先責任者 執行役員 澤田 正憲
 (TEL 03-3278-6750)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	10,500	2,510	2,500	1,475
今回発表予想(B)	11,500	2,510	2,500	1,475
増減額(B-A)	1,000	—	—	—
増減率(%)	9.5	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	8,128	2,081	2,074	1,234

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	10,500	2,510	2,510	1,481
今回発表予想(B)	11,500	2,510	2,510	1,481
増減額(B-A)	1,000	—	—	—
増減率(%)	9.5	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	8,128	2,082	2,106	1,228

修正の理由

連結売上高: シンプレクス・テクノロジー本体の売上が好調に推移したことから、前回予想を上回り11,500百万円(前回予想比+9.5%、前年同期比+41.5%)となる見込みです。
 連結営業利益、連結経常利益、連結当期純利益: 売上高は予想を上回って推移しておりますが、来期以降の成長への布石として研究開発費への追加投資を行うため、利益については当初計画通りとします。

当期は、FX取引システムを中心としたインターネット取引システムの販売が好調で、業績が予想を上回って推移しております。さらに、UMS(サービス)売上においても、個人投資家向けトレーディングツール「SPRINT」を中心に、堅調に売上が推移しております。
 一方、利益面においては、研究開発費の支出を第3四半期連結累計期間において754百万円(予算比344百万円増額)支出しており、既に年間の当初予算(600百万円)を上回っております。来期以降の成長への布石として、引き続き研究開発費への追加投資を行うため利益については当初計画通りとしております。
 これらの要因から、通期連結業績予想は、当初計画値を大きく上回る見込みとなりました。
 なお、通期個別業績予想の修正理由は連結と同じです。

以上